

第25回那覇地区中学校軟式野球春季1年生強化試合要項

- 1. 主催** 那覇地区中学校体育連盟野球専門部
- 2. 期日** 令和5年12月16日(土)～令和6年2月11日(日)
- 3. 日程** 令和5年12月16日(土)～令和5年2月4日(日) 1回戦～3回戦
令和6年2月10日(日) 競技開始 9:00(準決勝・決勝戦)
予備日 令和6年2月11日(日)
- 4. 会場** 令和5年12月23日(土)～令和6年2月4日(日) 当該校で調整
令和6年2月10日(土) 準決勝に進んだチームの学校で行う
- 5. 申込締切日** 令和5年11月30日(木)までに専門部長へ参加の有無を回答する。
- 7. 申込方法** (1)大会参加申込用紙は那覇地区中体連野球専門部HPからダウンロードし、必要事項を記入後、
学校長の捺印を受け、試合当日に各会場の本部へ7時30分までに提出する。
(2)試合球3球、ロジン1個を提出する。 ※準決勝、決勝は本部で準備する。
- 8. 企画運営責任者** 那覇地区中体連野球専門部
大浜 淳一(仲西中)渡嘉敷 光範(仲井真中)宮國 稔基(城北中)久高 陵太郎(首里中)安里 博文(仲西中)
野原 大輝(浦西中)宮良 淳(神森中)大城 征一郎(古蔵中)比嘉 政人(石田中)下里 洋介(松島中)仲村 俊哉(昭葉中)
山城 千尋(松島中)伊佐 常克(金城中)高良 政之(神原中)島袋 剛(浦西中)宮里 哲平(松城中)照屋 駿介(興南中)
瑞慶山 良樹(神森中)當間 栄太(仲西中)仲本 政毅(鏡原中)山城 慶太(那覇中)比嘉 峻也(小禄中)大城 佑作(浦添中)
新田 宗矢(石嶺中)上田 直哉(真和志中)根間 誉(港川中)座波 清匡(那覇中)安次富 晃(寄宮中)比嘉 京右(沖高中)
下地 雄大(城北中)當銘 正大(興南中)足立 忠敬(港川中)石山 和明(安岡中)金城 雄大(球美中)植 憲介(久米島西中)他
- 運営委員** 那覇地区中体連加盟校に所属する野球部全顧問
- 9. 参加資格** (1)那覇地区中体連加盟校に在籍する1年生で編成されたチームで、1校1チームとする。(合同チームも認める)
(2)学校長が選手として本大会に出場を許可したものであること。
(3)選手の引率は、出場校の校長・教員とする。監督等については校長・教職員(常勤)とする。教職員以外のコーチについては、学校長の認めた者で、地区・県に登録された者とする。
但し、ベンチ入りについては1名のみとする。
(4)硬式ボールを使用球としている団体に所属しているチームとその構成員の出場は認めない。
(5)参加資格の特例を認める。「開催基準8(6)複数合同チーム」(県に準ずる)
- 10. 競技規則** 2023年公認野球規則及び(公財)全日本軟式野球連盟競技者必携、本大会競技規則・特別規則に則って行う。
投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、下記の通りとする。
・大会中の1日の投球制限・・・100球
・1週間の投球数・・・350球
※試合中に100球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
- 11. 大会規定** (1)競技形式はトーナメント方式及びアテスト方式とする。
(2)1チームの選手参加人数の上限は規定しない。マネージャー・スコアラー2人、監督1人、コーチ2人、トレーナー1人(有資格者)とする。
※但し、合同チームに関してはその限りではない(監督・コーチ最大4名以内とする。)
(3)背番号は、原則としてポジション順とする。21番以降の選手についても背番号を着用すること。
(4)試合は7回戦とし、得点差によるコールドゲームは3回以降10点差、5回以降7点差とする。
なお、決勝戦にも適用する。
日没・降雨などで試合が成立しない場合は、特別継続試合(サスペンテッドゲーム)を適用する。
(5)延長戦の8回以降からは、タイブレークを適用する。タイブレークは無死1、2塁の状態継続打順で開始する。
勝敗が決しない場合は、さらに継続打順で繰り返し、原則10回までとする。10回までに決着がつかない場合は、大会本部で協議の上、決定する。
(6)今大会は100分ルールを適用する。(100分に到達したイニングまでとする。)
時間を過ぎて同点の場合は次のイニングからタイブレークを適用する。
- 12. 試合球** 全日本軟式野球連盟公認内外ボールM号球とする
- 13. 組合せ** (1)令和5年12月14日(木)に那覇市立城北中学校(地域連携室)で行う。
(2)抽選は、原則として各学校の監督(又は当該校の教師)が行う。
- 14. 表彰** 優勝チームには賞状、準優勝・3位のチームには賞状を与える。また、個人賞として殊勲賞・敢闘賞・打撃賞(1名)を表彰する。(個人賞は決勝戦進出校から選出し、打撃賞は準決勝、決勝戦をあわせた規定打席4打席以上の打者とする)
- 15. その他** (1)チームの責任は、引率者において、一切負うものとする
(2)今大会の上位4チームには、第32回 那覇地区中学校軟式野球1・2年生強化大会へのシード権を与える

第25回那覇地区中学校軟式野球春季1年生強化試合細則

1. 試合時間 (1) 試合時間は100分とし、その60分前までには集合する。
(2) 連続試合の場合は間隔を30分とする。
2. オーダー交換 (1) オーダー用紙は大会本部の用紙を使用する。(5部提出)
(2) 攻守決定は、前の試合の4イニング終了時(第1試合は試合開始45分前)に監督立ち会いの上、主将が行う。但し、連続試合で先発投手が主将の場合は、登録メンバーから代理を認める。
3. ダックアウト (1) 抽選番号の若い方が1塁側とする。但し、同一チームが連続して試合を行う場合は移動しない。
登録された監督、コーチ、選手、記録員以外のベンチ入りは禁止する。
(2) ダックアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止。
(3) ダックアウト内でのメガホン使用は監督、コーチのみとする。(ベンチ内1個とする。)
4. シートノック (1) シートノックは、全試合後攻より行う。時間は5分間とする。
(2) シートノック時のみ、補助員(5名以内)を認める。なお、ユニフォーム、ヘルメットを着用すること。(2年生可)
補助員が大人の場合でも安全面を考慮してヘルメットを着用すること。
(3) ノッカーは、ユニフォームを着用する。
(4) 1日で2試合を行うチームは、シートノックを1試合目のみ行う。なお、天候などにより球場を移動して試合を行う場合は、本部に確認の上、シートノックを行う場合もある。
※天候の理由でシートノックを行わない場合もある。その場合は試合時間を早めることもある。
5. 応援 (1) 中学生としてふさわしい応援をする。
(2) 応援は攻撃側のチームが優先に行う。
(4) 会場によっては太鼓による応援を禁止する場合もある。
6. 守備側と攻撃側のタイムの回数制限 (1) 捕手または内野手が、1試合に投手の所へ行ける回数は、7イニングで3回とする。
なお、延長戦(タイブレークも含む)となった場合は、1イニングに1回行くことができる。
また、攻撃側についても同様とする。
7. 監督が投手の所へ行く回数の制限 (1) 監督が1試合に投手のところへ行ける回数は 3回以内とする。なお、延長戦(タイブレークも含む)は、1イニングに1回行くことができる。
(2) 監督が同一イニングに同一投手の所へ2回目に行くか、行ったとみなされた場合は、投手は自動的に交代しなければならない。なお、他の守備についたときは、同一イニングには再び投手には戻れない。
8. 用具 (1) バットリング、トレーニングバット、マスコットバット、スプレー(滑り止め)の使用を禁止する。
(2) 手袋は、原則として「白」または「黒」を主にした高校野球対応の手袋を使用する。
(3) 全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)が完全に消えた用具は使用できない。
(4) 捕手は全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)が入った捕手用ヘルメット・マスク(SGマーク)・スロートガード・プロテクター・レガースとファウルカップを使用すること。
また、打者・走者・次打者・ベースコーチ・バットボーイは全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)が入った両側にイヤラップ(内側にはスポンジ等)のついたヘルメットを使用すること。
(5) リストガードは使用できない。
9. 試合のスピード化 (1) 打者・次打者・ベースコーチの4名は攻撃前のミーティングには参加せず、所定の場所に移動すること。
(2) 打球を受けた捕手は、速やかに投手に返球すること。
(3) 捕手から返球を受けた投手は、速やかに投手板を踏んで投球姿勢をとること。
(4) 次打者席では、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。投手も必ず次打者席に入ること。
(5) サイン交換は迅速に行うこと。打者はバッターボックス内でサインを見る。
10. その他 (1) チームの選手(監督・コーチ含む)は同色、同形のユニフォームを着用する。グラウンドコートも同様とする。
尚、監督・コーチのシューズについても同色とする。
(シューズ・スパイクにおいては令和5年度までの大会において色の混在を認める。なお、高校野球対応のものとする。)
コーチ(教職員)の服装は平服でもよい。また、記録員はユニフォームか制服とする。
(2) ストッキングの形をしっかりと統一する。
(3) 選手交代は、監督が球審に告げること。
(4) 球場内においての試合前の練習はユニフォーム又は、統一のチームシャツを着用すること。
(チームシャツを着用する場合は、オーダー交換前までにユニフォームに着替えること)
(5) 芝生保護のため各球場において正規のシートノック以外はスパイク以外で行うこと。
(6) 球場内のバッティング練習は、バント・トスバッティング(1対1)までとする。
(7) 試合中のアップ(キャッチボール)については2組(4名以内)とする。
(8) 審判は各校から成人1名、中学2年生以上1名の計2名を派遣する。審判員は2・3年生の野球部員またはできるだけ父母の協力を得て欲しい。
(9) 準決勝からは那覇地区中体連野球専門部職員で行う。

※ 大会参加に当たり、氏名、学校名、学年及び対戦結果、記録、画像等を主催者が発行・販売する大会冊子、出版物、ホームページ、及びマスコミへの公表に使用することがあります。